

女性学連続講座

女性学は人間に対する新しい視点から生まれた学問です。現代社会と文化の構造をジェンダーの視点から分析し、地球的協働ならびに男女協業に参画する人材を輩出しています。学びから新たな発見へ！

ご希望の講座のみ参加も可能です。

【講座内容】

- 第1回 2012年1月21日(土) 13:20~14:50 504教室
「人口減少社会における女性と家族」 魚住 明代 (城西国際大学教授)
女性が思う存分に力を発揮できる社会とは、家族の在り方とは—。ドイツとの比較の中でヒントを探ります。
- 第2回 2012年1月28日(土) 13:20~14:50 4号棟201b教室
「国連の動き、日本の男女共同参画政策」 原 ひろ子 (城西国際大学客員教授)
近年の日本での男女共同参画政策の動向は、国連での様々な会議での動きに呼応して、進展してきています。その動きと、女性による運動との関係にも触れていきます。
- 第3回 2012年2月4日(土) 13:20~14:50 504教室
「観光文化とジェンダー」 和智 綾子 (城西国際大学客員教授)
観光文化には、観光産業で観光資源として観光地の伝統的な文化(生活様式)を集客のため、まちおこしのため利用するという意味と、観光地そのものの文化(生活様式)という意味の二つの側面があります。それらをジェンダーの視点から論じていきます。
- 第4回 2012年2月18日(土) 13:20~14:50 504教室
「『フランケンシュタイン』における父と子」 吉城寺 尚子 (城西国際大学准教授)
メアリ・シェリーの小説『フランケンシュタイン』におけるヴィクターと怪物の関係が、小説をもとに作られた映画ではどのように変わり、表されているか。「父と子」をキーワードに考えます。
- 第5回 2012年2月25日(土) 13:20~14:50 504教室
「3・11以後の文学とジェンダー」 北田 幸恵 (城西国際大学教授)
川上弘美『神様2011』、津島佑子『ヒグマの静かな海』などの表象を通して、3・11以後の文学とジェンダーについて考えます。

【場所】

学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス (教室はそれぞれの回に記載)

(東京都千代田区紀尾井町3-26)

【交通アクセス】

東京メトロ有楽町線麴町駅下車1番出口より徒歩3分、半蔵門線・永田町駅9番出口より徒歩5分、丸ノ内線・銀座線赤坂見附駅D出口より徒歩8分、JR中央線四ツ谷駅より徒歩10分

* 駐車場は備えておりませんので、公共の交通機関をご利用願います。

【受講料】

無 料

【申し込み・問い合わせ】

メールでのお問い合わせ: 城西国際大学ジェンダー女性学研究所 igws@jiu.ac.jp

お電話でのお問い合わせ: 城西国際大学国際人文学部事務室 tel 0475-55-8837 fax 0475-55-8897